令和８年度 新興・再興感染症研究基盤創生事業(海外拠点活用研究領域)
公募における「研究開発提案書」の記載上の注意

- **提出書類一覧**

研究開発提案書 （必須）	以下を、①～⑩の番号順に一つのファイルにまとめ、通しページを付して、PDFファイルとしてください。ファイル名は「1_研究代表者氏名_研究開発提案書」とし、e-Rad の「応募情報ファイル」へアップロードしてください。 ① （様式 1） 研究開発提案書 ② 別紙１ 提案時点の予定経費 ③ 別紙２ 研究開発全体の内容の概要図 ④ 別紙３ 担当別 研究開発概要 ⑤ 別紙４ その他審査に必要な項目 ⑥ 応募様式 1 **⑦** （様式２）ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式（**該当する場合は必須）** ⑧ 動物実験に関する自己点検・評価結果**（※該当する場合は必須）** **⑨** A.「海外拠点設置大学との MTA 本締結に向けて必要事項が記載された提出準備段階の契約書」、及び B.「契約に向けて海外拠点設置大学の内諾を得たことを明示する書類」**（該当する場合は必須）** ⑩ 海外研究拠点における共同研究の実績を証明する書類**（該当する場合は必須）**

- **全般的な注意事項**

・ 提出書類は、原則として日本語で作成してください。記載漏れなど不備がある場合は、審査対象外となることがあります。
・ 字数制限や枚数制限を定めている様式については、制限を守ってください。
・ 入力する文字のサイズは、原則として 10.5 ポイントを用いてください。
・ 英数字は、原則として半角で入力してください。（（例）郵便番号、電話番号、人数、金額等）
・ 専門用語や略語については、評価者が内容をより正確に理解できるよう、適宜、注釈をつけてください。
・ 提出書類は、下中央にページ番号を付与してください。
・ 提出書類の作成はカラーでも可としますが、白黒コピーをした場合でも内容が理解できるように作成してください。
・ 同時に公募を行う「多分野融合研究領域」とは、一部の応募条件や提出書類の様式などが異なります。混同のないよう、注意してください。

研究開発提案書

提案書【表紙の表】

- 【研究開発課題名】は、ご自身の提案内容がわかる課題名を設定し、記載してください。また活用する海外拠点（大学名、拠点名）を必ず併記してください。
- 採択可否の通知は、令和８年６月上旬（予定）に、研究開発提案書に記載の研究開発代表者住所宛てに郵送にて通知予定です。採択可否の通知前に連絡先が変更となる場合は、AMED 疾患基礎研究事業部 疾患基礎研究課までご連絡ください。
- 採択された場合には、研究開発代表者の【契約・経理事務担当者　氏名】、【契約・経理担当部署(部局名)・連絡先】へ、委託研究開発契約の締結に係る事務連絡をさせていただく予定です。

【１ 研究目的】

- 様式１の各項目に対応する内容をもらさず記載してください。図や表を用いても構いませんが、本項全体で指定されたページ以内に収めてください。
- 「研究の目的・趣旨・背景、必要性及び特色・独創的な点」には、加えて、本研究提案の背景や、現在まで行った先行研究等と今回提案する研究開発計画の関係が明確となるように記載してください。（必要に応じて図を用いることも可能です。）特に独創的、革新的、新規性や優位性が高い部分には下線を引いてお示しください。
- 「研究開発期間中に何をどこまで明らかにするか」には、目標を明確に記載し、目標が複数ある場合は項目を立てるなど記載をわかりやすくしてください。 令和 8 年度から令和 10 年度末までの 3 年間の予定を記載してください。
- 「期待される成果」には、直接得られる研究成果だけでなく、間接的に期待される新技術の創出、社会的な成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）についても記入してください。

【２ 研究計画・方法】

- 令和 8 年度から令和 10 年度末までの 3 年間の予定を記載してください。
- 同一研究開発代表者が複数の海外研究拠点を活用した研究提案を申請する場合には、研究開発提案書に主に活用する海外研究拠点を責任拠点とし、責任拠点以外の拠点は、副拠点と位置付けて関連性を明記してください。また、各海外研究拠点の連携について、各拠点の役割等を明確に記載してください。
- 様式１は公募要領　第Ｉ部　第２章　2.3.1　(3)「応募にあたっての留意事項」を参照の上記載してください。
- 海外研究拠点を持たない大学・研究組織等の研究者と連携した共同研究、異分野の研究者と連携した斬新な視点や方法論での共同研究など、可能な限り海外研究拠点のオープン化による研究機会の拡充・強化に努めることを推奨しています。また、海外研究拠点において得られる検体や情報等を活用する研究を必須としますが、比較研究等のために国内や第三国から得られる検体

や情報等を活用することも可能です。様式１において、海外研究拠点を持たない大学・研究組織等の研究者と連携・協力する場合、協力計画とそのメリットを記載してください。

【３．研究の将来展望】

・ 本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について記載してください。社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等は、「期待される成果」をもとに、直接得られる研究成果だけでなく、間接的に期待される新技術の創出、社会的な成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）についても記入してください。

【４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報】

・ エフォートについては、公募要領　第Ⅱ部　第２章　Ⅱ-2.1.2「過度の集中に対する措置」をご参照ください。

【５．実施体制図】

・ 様式１の５、６、別紙２及び別紙３は記載内容が連動しています。様式１の６、別紙２及び別紙３と記載内容が整合するように記載してください（分担研究開発課題名等）。

【6．研究開発の主なスケジュール】

・ 様式１の５、６、別紙２及び別紙３は、記載内容が連動しています。様式１の５、別紙２及び別紙３の記載内容が整合するように記載してください。特に、別紙３「＜年度別　研究開発項目の達成目標＞」の記載内容は、様式１の６の表中「研究開発項目」と一致するように記載してください。

【7．各年度別経費内訳】

・ 代表研究機関分、分担研究機関分は記入用シートを追加して、研究組織の【代表研究機関】【分担研究機関】とそれぞれ明記してください。

【８．研究業績】

・ 本欄に記載する論文・著書の情報は、過去 5 年間のもの（2021年 1 月以降）のみを記載してください。

【9．研究費の応募・受入等の状況・エフォート】

・ 本欄は、研究開発代表者の情報を記載してください。（今回の提案で研究開発分担者となる者の情報については記載不要です）

（１）応募中の研究費

・ 「令和 8 年度の研究経費（直接経費）」枠には、現在応募中の研究費について、申請者（今

回の提案で研究開発代表者となる者）の令和 8 年度の申請者本人への配分予定額（直接経費）を記載してください。また、申請者が研究代表者として応募している研究費の場合には同枠の［期間全体の額］に、研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額)を記載してください。

・ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」枠の括弧内には、研究開発課題全体の直接経費の総額（期間全体）を記載してください（分担の場合には記載は不要です）。

（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）

・ 令和 8 年度に引き続き受入れる予定の研究費と、既に採択が確定し受入れる予定の研究費について記載してください。

・ 「令和 8 年度の研究経費（直接経費）」枠には、申請者（今回の提案で研究開発代表者となる者）が、令和 8 年度に受給予定額を記載してください。代表者の場合には同枠の［期間全体の額］に、研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額)を記載してください。

・ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」枠の（）括弧内には、研究開発課題全体の直接経費の総額（期間全体）を記載してください（分担の場合には記載は不要です）。

（３）その他の活動

・ 令和 8 年度の予定について、申請者の年間の全仕事時間を 100%とした場合の教育活動・所内事務・診療等の研究活動以外に費やすエフォート率を記載してください。

・ 「（１）応募中の研究費」、「（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）」、「（３）その他の活動」のエフォート率の合計が 100%となるようにしてください。(100%を超えていると修正対応等のため、採択後の手続きに遅れが生じる可能性があります)

【10. これまでに受けた研究費とその成果等】

・ 本欄は競争的資金、非競争的資金のいずれも記載可能です。

・ 「これまでに代表者として受けた研究費」の「代表者」とは当該研究の立案実行に主体的に関わった者を指します。自らが直接資金を受け、または命を受けて研究業務をまかされたもののうち、その研究成果等が本応募課題の研究の立案に生かされているものについて、記載可能です。

【11. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等】

・ 評価の対象にはなりませんが、AMED が概要を把握するために必要と考える情報を記載してください。

・ 記載する情報が無ければ、空欄で結構です。

【12. 【若手・女性推進枠】若手研究開発代表者 公募対象者チェック】欄

・ 【若手・女性推進枠】で応募する研究提案者のうち、若手として応募する場合は欄内の条件から

合致するものにチェックを入れてください。通常枠で応募する若手研究者（欄内の条件に合致する者）は、チェックは不要です。

別紙

✓ 別紙１ 提案時点の予定経費

- 記載する金額は、（様式１）の「7．各年度別経費内訳」及び「研究組織（【代表研究機関】及び【分担研究機関】」と齟齬がないように記載してください。
- 初年度の間接経費率については、原則提案時から変更はできません。間接経費の記載については、代表研究機関および各分担研究機関の「契約・経理事務担当者」に確認した上で記載してください。

✓ 別紙 ２ 研究開発全体の内容の概要図

- モノクロ印刷されることを考慮して、写真等を貼り付ける際には濃度に注意してください。
- 様式１の５、６、別紙２及び別紙３は、記載内容が連動しています。様式１の５、６及び別紙３と記載内容が整合するよう記載してください。

✓ 別紙 ３ 担当別 研究開発概要

- 研究開発代表者及び研究開発分担者全員分を記載してください。
- 様式１の５、６、別紙２及び別紙３は、記載内容が連動しています。様式１の５、６及び別紙２と記載内容が整合するよう記載してください。特に、別紙３「＜年度別 研究開発項目の達成目標＞」の記載内容は、様式１の６の表中「研究開発項目」と一致するように記載してください。

✓ 別紙 ４ その他審査に必要な項目

- 研究計画の実施における連携協力体制および研究を行うにあたり配慮すべき事項等として必ず記載してください。
- 【1．関連学会等について】において記載枠が足りない場合には、適宜、枠を追加して記載してください。
- 【2．協力体制について】において、臨床研究を行う場合は、「１．疫学・生物統計家の関与」の枠を必ず記載してください。

✓ 応募様式１

- 採択可否等に関する連絡の宛先となりますので、正確に記載してください。

✓ 研究開発提案書以外に必要な書類

該当する場合は提出してください。

- ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式　　公募要領 4.2（1）参照

- 動物実験に関する自己点検・評価結果　公募要領 4.2（2）参照
- A.「海外拠点設置大学との MTA 本締結に向けて必要事項が記載された提出準備段階の契約書」
  B.「契約に向けて海外拠点設置大学の内諾を得たことを明示する書類」
  公募要領 4.2（3）参照

以上